



△長岡各界連絡会 9月の街頭行動△

消費税なくす長岡各界連絡会では、の内250円(金)12時00分～アオーレ長岡前歩道で「憲法を守る長岡地域共同センター」と共に行いました。参加12名、「消費税率引き下げ、インボイス廃止」の署名は2筆でした。

シール投票は「5%

に下げるべき」が2枚貼られましたが、今回

久しぶりに「10%のままでよい」に貼った

人がいました。話を聞くと「消費税を下げる」と「消費税を下げる」と数年後に国の財政が破綻する」という事でした。

街頭行動参加者から、消費税率を下げるのは結局国民みんなに効く景気対策になる事、代わりの財源はある事などを説明しましたが、本人はあまり納得していない様子でした。

国民の半数以上がなんらかの形での消費税減税または廃止を望んでいる中で、いまだに、消費税は国の財政に欠かせない、それを妨げるのはよくな、と考える人が存在する、と実感しました。

△消費税減税は国民の6割以上が希望△

8月に報道各社が行った「世論調査でも、「消費税を引き下げるべき」あるいは「廃止すべき」という回答が60%～70%を占めています。これは、消費税減税が、国民の要求として定着しておきる証拠です。

そして消費税が日々の暮らしに重くのしかかっている事を実感しているおられでもあります。

また日本商工会議所が昨年調査した際、免税業者からインボイス登録した事業者のうち51.5%が「減収した」と回答、また昨年は81.5%、今年の調査では77%が「価格交渉していない」と回答し、その理由として

7割は「取引先からの交渉提案が無かった」としましてが2割は「価格交渉を打診すると取引が見直される恐れがある」としています。力関係で弱い立場の中企業者がインボイスに苦しむ様子が見て取れます。

むづく!国民の声を上げて政治に届ける必要があります。

△長岡各界連絡会 10月の街頭行動予定△

10月は24日(金)12時00分～アオーレ長岡前歩道を予定しています。多くの参加をお待ちしています。今後決まる新首相がどういう政策をするかは未知数です。地元組を上げ、市民に訴えて行きましょう。

△長岡民商共済会より△

今年度も大腸がん検診を実施します。

今年の日程(回収日)が、11月の日(日)・10月(日)を予定しているほか、詳細については先週折り込みチラシをご覧ください。自分のお名前をやるために、みなさん参加しましよう。次の点を上げておきます。

- ・大腸がんは、部位別死亡者数で男性2位、女性1位
- ・早期発見で生存率が高くなる
- ・検診は「昨年やつたからここや」ではなく毎年がいい
- ・年に数回やつておこう

ただいま参加者絶賛募集中です。

民商共済加入の方は参加無料です。

配達者を通じて参加確認をすすめている支局もありますが、直接事務局へ連絡していただいても結構です。

※ある会員は、昨年10回の検診では陰性でしたが、半年後にわざわざ1回検診をしたところ陽性となり、精密検査で「大腸腺腫」がみつかり無事切除しました。

△第2回憲法九条を守る長岡のつどい△

(主催・九条を守る長岡の会)

日時 10月25日(土)午後3時から(開場13時)

会場 長岡市立中央図書館講堂(学校町)

○ 講演「戦火のなかの子どもたち

～今しごと間のこれまでのいわれ～

松本猛(美術評論・作家) おひるの美術館館長(顧問)
いわきひづの長男、『黙恋』著多数執筆

○「へいわの歌」 ギター・歌 酒井みつお(長岡民商公会)

前売り券 100円
会場整理の都合上(会場定員あり)前売りとの事です。

申込みは先週折り込みのチラシにある
各申し込み先まで

「平和でこそ商売繁盛」です。

